

登録コード	E8363400	開講年度	2026					
授業科目	卒業研究					担当教員	松澤 泰道	
英文授業名	Study for Graduate					副担当		
単位数	5	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	4年生
講義室	教育研究室			授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ							
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					⇔	論理に基づいて精密な数学的議論を展開できるようになる.	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					⇔	何が明らかで何が明らかでないかを判別できるようになる.	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	セミナー形式で、卒業論文に関係する文献を講読し、質疑応答する. 設定した研究課題に関する研究を行い、卒業論文としてまとめ、発表する.							
(5)授業計画	各自の興味・関心に基づき、各自の卒業研究のテーマを選択し、研究課題を設定する. 次に、研究を進めるにあたって必要となる文献等を収集し、熟読することを通じて、設定した研究課題の解決を試みる. 最後に、研究の成果を卒業論文としてまとめる. 上記のプロセスは一方的に進むものではなく、振り返って検討してみたり、一応の解決が得られた後により精緻化したりと、研究の進捗状況に応じて進むものである.							
(6)成績評価の方法	「卒業研究の内容を理解できているか」を各回の発表（30%）、質疑応答（20%）、及び卒業論文の内容（50%）によって評価する. ※評価割合は、若干の調整を行うことがある. ・得点率による評価基準は次のとおりとする. 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可.							
(7)成績評価の基準	授業で示した例題と同レベルの問題が解ければ「水準にある」、応用問題が解ければ「やや上にある」、やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」、例題から難しい応用問題が解ければ「卓越している」							
(8)事前事後学習の内容	通年で5単位するためには毎週5時間の自習が要求される. その時間を用いて授業で提示された問題を必ず解くこと. また、各自で様々な参考書を読み、授業で消化不良している部分を補うこと.							
(9)履修上の注意	各自、研究テーマに関連した文献等を図書館などで自主的に検索・収集すること. この授業は225 時間の学修を必要とする内容であるため、150 時間以上の時間外学習が必要となる.							
(10)質問、相談への対応及び連絡先	随時. myasu@shinshu-u.ac.jp							
【教科書】	未定.							
【参考文献】	卒業研究のテーマに応じて選択される.							